小平市立小平第三中学校

小 平 三 中 だ よ り

令和4年度　第2号　　発行日　令和4年5月6日

地域と共に

副校長

令和４年度が始まり１か月が経ちました。みなさまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか？さて、この度ご縁があり、小平第三中学校に赴任いたしました。小平市に勤務するのは初めてであり、どういう地域なのかな？という不安が少しながらありました。しかし、小平第三中学校に着任する前に、様々な方から「小平は良い地域ですよ。」とお聞きし、不安が和らいでいきました。

そして、先日行われた始業式・着任式。２、３年生の生徒が式に向けて整然とした行動を取り、式でも立派な態度で臨んでいました。１年生は入学式で、立派な態度を見せてくれました。安心しました。

また、保護者や地域の方々が学校の活動や取組に対してご理解いただき、協力的で、とても助かっています。本校に勤務している教職員の方々も、熱心に授業や仕事をおこなってくれています。

生徒や保護者、地域、教職員のみなさんと関わる中で、小平三中学や地域の素晴らしさが分かり始めてきました。地域に助けられ成り立つのが公立学校。これからも「地域と共に」をモットーにしていきます。

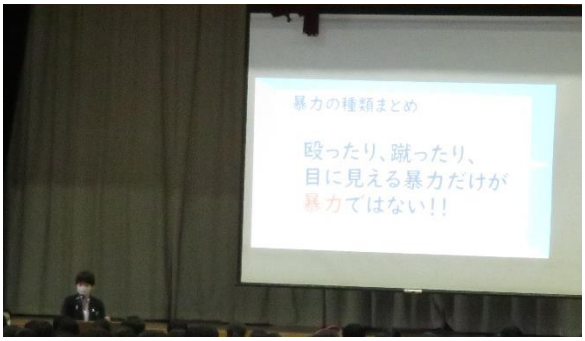
◎4月5月の主な学校行事の様子

1年生を迎える会

４月１１日の５・６校時に「１年生を迎える会」が行われました。この会は、１年生を温かく迎え、三中の生徒会活動と部活動を知ってもらうことを目的に、部活動紹介参加生徒・実行委員生徒が参加しました。コロナ感染対策で、部活動の発表は一つの部活動につき２分となりました。３年生を中心に工夫を凝らし、１年生に楽しんでもらえるように取り組んでいました。どの専門委員会や部活動もリハーサルの時からさらによくなっており、特に３年生のやりきる姿をみることができました。２年生も初めての参加ながら一生懸命に取り組んでいました。当日、１年生は生徒会役員の作成したプログラムを会場に持参し、それを読みながら、楽しそうに２、３年生の紹介を聞いていました。初めての異学年交流が良い形でできたことを嬉しく思います。

セーフティ教室（生活指導部）

今年のセーフティ教室は「１０代のデート DV」という題材で講師の先生に授業をおこなってもらいました。 DV（ドメスティック・バイオレンス）は、結婚している夫婦等の間だけで起こるのではなく、若い恋人同士の間や友人との間にも起こりえる問題として近年問題となっております。恋人同士や友人間で起こる DV のことを「デート DV」といい、身体的暴力だけでなく、相手に対して傷つく言葉を言ったり、無視をしたり、行動の制限をするといったことなども含まれます。こういったデート DV について知り、よりよい人間関係を築いていけるためにもお互いを尊重するコミュニケーションを学ぶことがこの授業のねらいでした。当日は配られた資料やスライドを見ながら質問や身近に感じる場面の紹介を通して自分の身の回りでもデート DV が起こりえるということを生徒は学べたと思います。より良い人間関係を今後も築いていけるよう、このセーフティ教室の学びをこれからの生活に生かしてほしいと思います。



離任式

５月２日（月）離任式を行い、本校を去った３名の先生が来校しました。お一人お一人から心のこもったメッセージをいただきましたので抜粋して紹介します。

◇虫プロでアルバイトをしていた時、ドブの中のボウフラを３時間、夢中でずっと見ている人がいた。それが手塚治虫先生だった。夢中になることを大切にしてください。先生方はみなさんのことを応援しています。三中の先生は、みなさんの応援団です。これからの色々な人との出会いを大切にしてください。

◇三中ではコロナ禍の制限下で行事などをどうしていくかなど生徒の皆さんが考え取り組みにとても感動しました。そんなコロナ禍でも取り組んでいた３年生達が引っ張っていく姿を楽しみにしています。また人と人とのつながりは大切にしてください。そして新しいことに挑戦してください。挑戦しなければ何も生まれません。挑戦することでそこに何かが生み出されます。新しいことに挑戦しましょう。

◇３つお話をしたいと思います。１つめはチャレンジし続けること。壁を超えられないことがこれから出てくると思います。しかし、そこで努力をすることをやめてしまっては決して超えることはできません。ぜひチャレンジし続けられるようになってください。２つ目は友達を大切にすること。中学校時代の友達は一生ものだと思っています。ぜひ今の仲間を大切にしてください。３つ目は思いをしっかり伝えあうこと。仲間を大切にするためにも自分の思いを伝えることを大切にしてください。Bye!